７－４）グローバル補助金（GG）奨学生申請要項（様式701）

|  |
| --- |
| **国際ロータリー第2790地区**  **グローバル補助金（ＧＧ）奨学生**  **申請要項** |

　国際ロータリー第2790地区では、2020-21年度に派遣するグローバル補助金奨学生申請要項を、次の通り定めています。

■目的

　国際ロータリー(RI)第2790地区は、ロータリー財団（TRF）（以下「ロータリー財団」）が定めた６つの重点分野（平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）のいずれかに合ったキャリアを目指し、大学院レベルの研究目標もそれに沿ったものであり、海外の大学院で勉学する意欲ある留学生を支援します。

■条件

１.申請者は、申請書を提出する際に、入学許可を証明する書類を提出しなければなりません。

２.重点分野のいずれかに関わるキャリア目標を目指し、測定可能で持続可能な変化を助長する方でなければなりません。大学院での研究は、このキャリア目標に沿ったものでなければなりません。

３.奨学生は、奨学期間中、12ヵ月ごとに中間報告書を提出しなければなりません。奨学期間が終了後２ヵ月以内に最終報告書を提出しなければなりません。

４.定められている方法で奨学金を管理します

５.奨学金から75ドル以上の支出をする場合には、領収書を受け取り、報告書に添付しなければなりません。

６.奨学期間中、実施国側提唱者(留学先の地区またはロータリークラブ)の求めによって、卓話(クラブの例会において30分程度のスピーチをする)を行ったり、各種行事に招かれた場合には、それに参加しなければなりません。

７.奨学金期間が終了後には、推薦したクラブや地区から求めがあった場合、卓話や各種の行事に参加し、学友会の活動にも参加しなければなりません。

８.クイーンズランド大学（オーストラリア）、ブラッドフォード大学（英国）、デューク大学（米国）、ノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）、ウプサラ大学（スウェーデン）チュラロンコーン大学（タイ）を留学先の教育機関としている場合、ロータリー平和センタープログラムと一部でも重なりがある場合は奨学金は認められません。

９.申請者の居住地、職場、大学、本籍のいずれかが千葉県内にあること。

■奨学金の申請と内容

グローバル補助金奨学生の申請は、全ての必要書類を揃えて推薦ロータリークラブから申請してください。2020年3月31日締め切りです。

地区ロータリー財団委員会は2020年4月4日までに事前審査申請書をロータリー財団へ提出します。

授与する奨学金の上限額は40,000USDです。（DDF20,000USD、TRF20,000USD）

留学してからの受け付けはされません。

■推薦クラブ

　申請者は本籍、居住地、職場、大学等のいずれかの所在地に所在するロータリークラブに推薦を申請してください。最寄りのロータリークラブへの連絡先等は、国際ロータリー第2790地区ガバナー事務所ホームページのクラブ情報で確認下さい。電話等によるお問い合わせにはお答え出来ません。

財団補助金奨学生の事業は推薦クラブが申請する財団補助金事業であり、地区ロータリー財団委員会の事業ではありません。

■ 申請手順

１.下記の提出物一覧に掲げる申請書類に漏れなくかつ正確に記入後、推薦クラブへ 3 月 15 日までに提出して下さい。ガバナー事務所や地区に直送しても無効です。また、申請書類は返還いたしません。

２.選考受験票はRI第2790地区ガバナー事務所の当該年度 HPからダウンロードして下さい。

３.推薦は原則として１クラブにつき地区補助金奨学生、グローバル補助金奨学生のいずれか１名のため、クラブが指定する日にクラブ選考がある場合がありますので期間に余裕を持ってください。クラブによる推薦のない申請書は受理されません。

４. 選考日程は次の通りです。

a.申請開始：2020年2月１日　※申請要領は地区のホームページからダウンロードして下さい。

b.クラブへの申請締切：2020年3月15日

c.クラブから地区への申請締切：2020年3月31日

d.地区奨学生選考会：2020年4月12日(予定)

※選考結果は推薦クラブと本人宛にメールで連絡します。

e.合格者説明会：2020年6月（予定）

※当日は第１回オリエンテーションを行います。オリエンテーションにはスポンサークラブの顧問ロータリアンにもご同席をお願いします。

５.合格者説明会・出発前オリエンテーション等に出席し、手続きをすべて完了した段階で初めて奨学生となります。欠席者は失格となる場合があります。

■ 提出書類

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 書 類 | 記入言語 | 部 数 | 備 考 |
| １ | グローバル補助金奨学生  参加申請書（様式７０２） | 日本語 | １部 | 推薦先クラブの承認が必要となりますので早めに  作成されることをお勧めします。 |
| ２ | グローバル補助金奨学生  応募申請書（様式７０３） | 日本語 | １部 | 要写真添付。 |
| ３ | 留学先教育機関での  入学許可証 | 日本語又は留学先言語 | １部 | 無条件の入学許可証 |
| ４ | 公的な語学試験のスコア | 日本語又は英語 | １部 | 英語はTOEFLまたはIELTSとする。（最新年度）  コピー可 |
| ５ | 推薦状 | 日本語 | １部 | 教師（２名）又は適切な雇用主/上司２名からの  推薦が必要。要厳封。 |
| ６ | 成績証明書 | 日本語  (英語も可) | １部 | 最終教育機関の成績表　提出  コピー可（選考会時に原本持参） |

※ロータリーの使命や理念については、国際ロータリーのHP（<http://www.rotary.org/ja>）

をご参考下さい。

※各種申請書及び、手続きに対する疑義解釈をQ＆A形式で国際ロータリー第２７９０地区の

ＨＰ（<http://www.rid2790.jp/2019/iinkai/z_syougaku.html>）に掲載されております。

ご参照下さい。

■ 選考会後の流れ

1. 地区ロータリー財団委員会は選考試験を行い、グローバル補助金奨学生を最大２名まで選考します。
2. 申請者は、ロータリークラブと協力して、実施国側提唱者(留学先の地区又はクラブ)を選定します。
3. 申請者は、ロータリークラブと協力して、オンラインで、ロータリー財団に申請書を提出します。
4. 地区ロータリー財団委員会は、出発までに数回のオリエンテーションを実施します。奨学生は、オリエンテーションを受講しなければなりません。
5. ロータリー財団の承認が得られるとグローバル補助金奨学生に決定します。決定後４週間程で、ロータリー財団より奨学金が入金されます。
6. 奨学生は、留学中、12ヵ月ごとに中間報告書をオンラインでロータリー財団に提出し、留学期間終了後は、２ヵ月以内に最終報告書を提出しなければなりません。